

## お手伝いはほめる種

子どもは大人のいろいろなところをまねしたがりますが、この「まねをする」ということは、お手伝いをはじめる第一歩です。

慌ただしく家事をしているときなどは、なかなか子どもの気持ちにこたえる余裕もないかもしれません。しかし、子どもが「僕もしたい」「私もやりたい」と言ったときは、その気持ちをできるだけ尊重することが、自己肯定感を高め、自立心を育てることにもつながっていきます。

ただ、当然のことですが、いきなり難しいことができるわけではないので、まずは、子どもができるところから始められるよう、うまく導いてあげましょう。

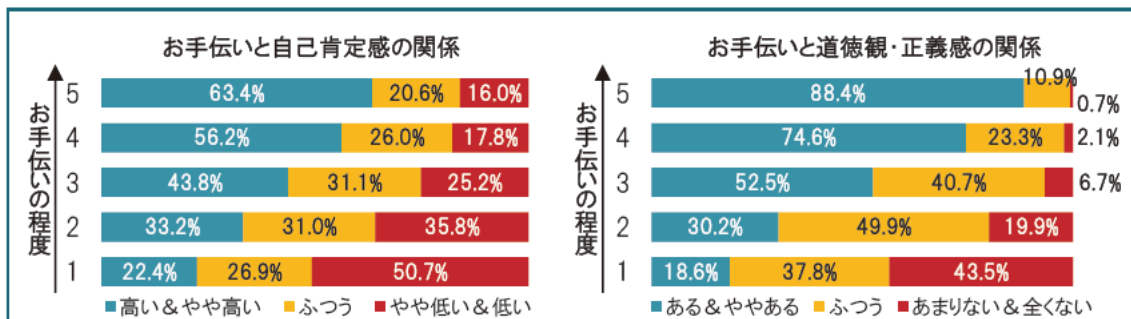
また、何事も最初は失敗するのが当たり前です。失敗しても、叱りつけてしまっては、せっかく芽ばえた自立心をくじけさせてしまうおそれもあります。「お手伝いはほめる種をまくこと」。ぜひ、前向きな言葉をかけてあげましょう。きっと、自信がついて、次はもっとできることが増えているはずです。

## &lt;「お手伝いをさせない理由」ランキング&gt;

- 1位 親がやった方が早い(食器洗い、食器拭き、食器収納)
- 2位 子どもが上手にできない(食器洗い、上履き洗い、掃き掃除)
- 3位 教えるのが面倒(野菜洗い、野菜の下ごしらえ、カーテンの開け閉め)

出典: キッズデザイン製品開発支援事業(経済産業省)による子育て住宅調査(平成24年度)

## &lt;お手伝いと自己肯定感、道徳観・正義感の関係【小4~6、中2、高2】&gt;



資料: 国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査(平成26年調査)」

お手伝いをしている子どもほど、自己肯定感や道徳観・正義感に優れているという傾向を示しています。



## <お手伝いをはじめる工夫の例>

### 【遊びごころ】

#### ○お店屋さん

**親**：〇〇（子どもの名前）洗濯物屋さんですか。  
〇〇洗濯物さんは、洗濯物をきれいにたたんでくれるってきいたんですが。

**子**：はい、おまかせください。（きれいに（？）たたんでくれます。）

**親**：ほんときれいにたたんでくれますね。助かりました。またぜひお願いします。

**子**：はい。いつでもどうぞ。（得意顔）



### 【競う】

#### ○きょうだいがいるケース、お父さんも巻き込んで。

- ・庭の草取り、どちらが多く草を抜くか
- ・どちらがきれいに洗濯物を畳むか。

### 【一緒に楽しむ（ただし余裕のあるとき）】

#### ○料理と片付け

- ・子どもの嫌いなものも含めて料理を一緒に作る。  
（副次的な効果：好き嫌いをなくせるかも。料理の味付けやママの味、パパの味を教えるチャンス。）



#### ○車を洗う

- ・休日は子どもと一緒に車を洗ってはいかがが。  
子どもには水遊び感覚でできるし、愛車がみるみるきれいになるし、一挙両得！

### 【時間がなくてもできること】

#### ○みんなできれいにしよう

- ・玄関の靴を揃える。（見た目もきれいに、急な来客にも安心）
- ・トイレを使ったあとに、便器を拭く。  
（いつもピカピカ。綺麗に使うよう気を付ける）
- ・明日は何のゴミだしの日か、子どもに読み上げさせる。（子どもはゴミだしのルールを覚えるし、親はゴミだし忘れがなくなる、一石二鳥）



楽しくやる方法はいくらでもあると思います。どうすれば一緒に楽しんでできるか考えてみたらいかがでしょうか。無理せずにお互い楽しんで気長にやりましょう！